

平成四年六月二十五日発行
第二六八号
大豊町中央公民館編集
印刷高知印刷株式会社

大豊

館報

五月末の人口世帯数
世帯 三、一一八戸
男 三、六三三人
女 四、一三九人
人口 七、七七二人



献穀田・5人の早乙女が一株一株心をこめて植える（東庵谷にて）

献血にご協力を

♡あなたの真心を待っている人がいます。

『愛の血液助け合い運動』

（七月一～三十一日）

私の健康を
社会のために



省エネに協力を

♡省エネは未来の子供への贈りもの地球に対する思いやりを。

大豊町

土砂災害防止月間大豊町大会

防災避難訓練実施

保育園児から高齢者まで800人が農村広場に集合



吉野川直轄砂防事業促進期成同盟会加盟町村が、持ち回りで実施している「土砂災害防止月間行事」防災避難訓練大会を大豊町の主催により、十七日農村広場に消防団員や各種団体から八百人余りが集合、災害を想定した大がかりな防災訓練が行われました。

この訓練目的は、災害対策基本法及び大豊町地域防災計画の規定に基づき、大型台風による災害を想定に、防災関係各機関との連絡の充実強化並びに災害応急活動の迅速円滑化を図ると共に、地域住民の安全避難と合わせて防災に対する理解と協力を求めることを目的とし行われました。

訓練想定

大型の台風が県中部に接近し、本町でも早朝から強風と豪雨のため、各河川の増水、併せて穴内川ダム放水等により広範に浸水、特に中州地区においては、土石流、山崩れ、交通、通信機関、電力等に災害発生が懸念される、を想定した訓練内容でした。

主要訓練項目

災害本部設置・自衛隊による空中偵察・避難誘導・応急



大田口分団仮橋の架設・豊永分団の土のう積み

日時

平成4年6月17日（水）午前9時～12時

避難訓練開始 9時20分

訓練場所

大豊町大杉農村広場（中村大王中州地区）

訓練参加機関

大豊町、本山土木事務所、本山警察署、日本電信電話株式会社、嶺北消防署、四国電力株式会社、四電工株式会社、大杉中学校、大杉小学校、大杉保育所、建設業大豊会、大豊町連合婦人会、大豊町消防団、大豊町医師会、地域住民



土砂被害車から救出
「嶺北消防署員」



四国電力による電気復旧工事



看護婦さんによる応急処置



建設業「大豊会」土のう運搬

救護・仮橋架設・シート張工
法・土のう積み・電話回線復
旧工事・配電施設復旧工事・
婦人会による炊き出し・等々
災害時に予想される項目を主
に行った。

訓練内容

午前九時開会式に始まり、
九時二十分訓練開始、まず、
大杉保育所・小学校児童・中
学校生徒・地元住民ら二百人
余りを消防団員や警察官が誘
導避難させ、本部統監（大豊
町長）の指令により、各作業
隊が次々と所定の作業を迅速
に行い、各作業隊の指揮官が
統監に対し、作業終了報告、
午前十一時四十分過ぎにすべ
ての訓練を完了しました。

日赤奉仕団大活躍

この日の訓練に町連合婦人
会（会長平石常子）では、婦
人会のもう一つの役割である
「日赤奉仕団員」として五十二
名が参加、五百人分の炊き出
しや接待に大忙し、「大きな災
害や台風が来たら大事ぞね、
日頃から避難する場所らも話
合っておく事が大切よね」と、
防災訓練に参加した意義を確
認していました。



建設省から応援ヘリコプター



連合婦人会員による炊き出し

主催

高知県大豊町

後援

建設省吉野川砂防工事事務所

高知県

高知県本山警察署

嶺北消防署

吉野川直轄砂防事業促進期成同盟会

吉野川砂防協議会

建設業大豊会

日本電信電話株式会社

四国電力株式会社

株式会社四電工

新嘗祭 (にいなめ) 献穀

東庵谷 吉村さんご夫妻

十一月、皇居で行われる新嘗祭の献穀者に大豊町東庵谷地区で農業を営む「吉村優一・沢子さん」夫妻が高知県代表として、大豊町から初めて選ばれました。

その神事と田植え式の行事



(献穀実行委員長秋山勉 J A 大豊町組合長) が、五月二十二日、吉村さんの献穀田(東庵谷)で厳かに執り行われ、参列者一同豊作を祈願しました。

神事には、県知事代理(中内農林水産部長) 渡辺町長、町議会議長ら六十名余りが参列しました。

田植え式では、吉村さんをはじめ地元の早乙女五人が一アールの献穀田に入り「黄金錦の苗」を一株一株丁寧に植えました。

なお、献穀までの稲の育成管理は、嶺北農業改良普及所大豊支所の指導のもと、献穀者である吉村夫妻により栽培



管理を行い、九月下旬～十月上旬の吉日を選び収穀祭・拔穂式神事などを行います。

そして拔穂された稲穂(二升・約百株) 程度を普及所大豊支所にて、ハデ掛け管理し県の農業技術センターで選別・脱穀・精米され、献穀者に引き渡されます。

献穀米は吉村家で大切に管理保管され、十一月に吉村さん夫妻が上京、皇居での献穀式典に望み献上されます。

一、今日の佳き日は

献穀田の

嬉しめてたし

御田植

ひと株ひと株

心をこめて

神に捧げる

この願い

二、山の緑に

献穀田に

揃いのかすり

早乙女が

心ははばれ

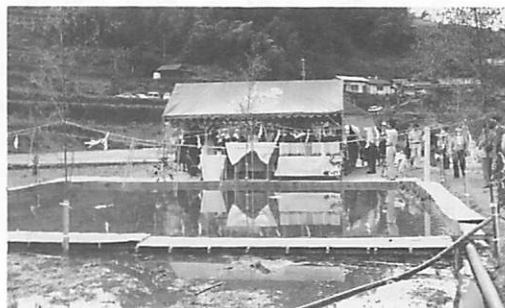
思いはひとつ

神に捧げる

御田植を

平成四年五月二十二日

東庵谷 西谷茂野



大豊町区長名一覽表

(平成四年四月十五日現在)

部落名	区長名	世帯数
戸手野	岡林 春友	40戸
本村	丁野 寿磨	54
馬峰	杉本潤次郎	17
久壽軒	萩野 直治	70
北川二	西村 利武	59
北川一	西岡登志文	23
枯谷	小笠原 仁	18
小川	栗井 達於	4
津家	山崎 計幸	43
高須	豊永 千里	39
日浦	桑名 藤義	51
大王上	佐竹 晃	22
大王下	門脇 幸男	60
葛原	秋山 宗時	52
川口南	伊賀 惇恩	109
松生	松浦 成伸	9
式岩	森山 正寛	7
穴内	佐々木国輝	31
穴内二区	秋山 徳郎	14
穴内三区	松岡 英芳	56
和田	原 儀忠	32
目付	岡 政利	21
磯谷	吉村 崇子	27
尾生	松高 龜喜	25
谷	久保 栄光	20
川口	秋山 利雄	37
一ノ瀬	川井 茂一	25
三谷	小笠原美身	39
中央	朝比充興志	27
刈屋	吉川 宗正	34
中和	石川 靖朗	23
仁尾ケ内	真鍋 重義	23
西土居	藤村 正直	26
佐賀山	山中 国男	39
上東	山中 一彦	28
中屋	平石 義和	12
黒石	西谷 章博	40
東庵谷	西谷 育夫	45
西庵谷	三谷 繁世	36
船戸	都築 将隆	67
大田口	小嶋 雄	52
石堂	桑名 幸雄	11
西梶ケ内	桑名 安男	27
奥大田	豊永 春喜	16
西寺内	都築 満男	49
東寺内	小笠原四郎	50
安野々	都築 義彦	17
東梶ケ内	上村 頼実	13
西久保	今井 俊彦	12
川戸	小笠原末年	46
連火	上村 範勝	18
下桃園	三谷 道徳	24
上桃園	上村 進	44
永淵	北村 繁幸	39

柳野	三谷 信仁	8
大砂子	小笠原寅美	45
大久保	北窪千代子	41
東土居	大家 信一	114
八川	吉村 璋義	24
筏木	算 利亀	18
三谷	三谷 平通	27
岩原	畑山 敏光	94
大豊園	楠瀬 正	79
大平	渡辺 正男	24
大滝	小松 熊由	19
落合	上村 行和	55
川井	渡辺 宣彦	47
高原	小松 栄枝	7
中内	野島 春喜	12
野々屋	永森亀太郎	23
土居	三谷三治雄	21
久生野	阿佐 嘉浩	43
大畑井	三谷 晴喜	42
沖	前田 種苗	9
薩	氏原 忠盛	21
柚木	上地 健男	47
三津子野	西村善三郎	26
怒田	朝倉 栄一	62
南大王	岡本 弘	14
八畝	小笠原晴信	47
立野	都築 武吉	16
西川	三谷 隆一	23
栗生	三谷秀一郎	33
発電所	西村 卓	3

部落名	氏名	安野々	都築	俊子
杉	入野 綾子	西土居	島崎	幸
小川	山崎 正男	下桃園	上村 茂子	
津家	豊永 忠男	上桃園	上村 進	
高須	徳弘 秀子	柳野	三谷 順子	
日浦	秋山 傳	大砂子	北村 光幸	
大王下	門脇 宏子	大久保	豊永志津子	
葛原	宮内 正男	筏木	寛 基	
谷	山中 正清	東土居	大利 秋時	
穴内二区	原 妙博	岩原	三谷 長繁	
穴内三区	岡本 修二	大滝	小笠原賀達	
和田	原 繁實	落合	豊永 敬子	
一ノ瀬	長野 和子	川井	渡辺 貫子	
立川三谷	吉川八重美	土居番	三谷 雄喜	
立川中央	小松 文江	久生野	笹岡 晃男	
仁尾ケ内	小笠原徳孝	大畑井	三谷 晴喜	
目付	森下 利明	柚木	上村 賀廣	
佐賀山	三谷 一水	三津子野	西村 茂頼	
黒石	西村 梅香	八畝	笹岡 広一	
東庵谷	西谷 茂野	怒田	川崎 寿美	
西庵谷	河野 徳晴	栗生	三谷 豊美	
大田口	樋口 喜三	北川二区	西岡 定子	
西梶ケ内	桑名 正延	久壽軒	重森 元亀	
奥大田	北村 義貞	馬瀬	萩野 直治	
舟戸	吉田 徳恵	木村	西岡富美子	
西寺内	河野 貞子			

大豊町民生委員

大豊町農業委員決まる

〈任期・平成4年3月31日～平成7年3月30日〉

委員氏名	住 所	選挙・推薦	担 当 区 域
小笠原加己	船 戸	公 選	上東・中屋・黒石・船戸・東西庵谷・和田
平石 秋了	中 内	同	粟生・大平・大滝・落合・川井・高原・中内
池田 和夫	怒 田	同	三津子野・怒田・南大王・八畝・立野・西川
都築 芳計	大久保	同	永淵・柳野・大砂子・大久保
徳弘 秀綱	川 口	同	谷・川口・一ノ瀬・津家・川口南・葛原
平石 英邦	柚 木	同	柚木・蔭
上池 重勲	東土居	同	東土居・八川・筏木・三谷・岩原・西土居・佐賀山
秋山 定幸	日 浦	同	日浦・式岩・高須・杉・桧生
西村 利武	久寿軒	同	北川一区・北川二区・久寿軒・枯谷
桑名 安男	梶ヶ内	同	奥大田・西梶ヶ内・目付・石堂・大田口・西寺内・東寺内
藤丸 時良	穴 内	議会推薦	穴内一区・穴内二区・穴内三区・尾生・磯谷
上村 正邦	桃 原	同	上、下桃原・安野々・東梶ヶ内・川戸・西久保・連火
前田 種苗	西 峰	同	野々屋・土居・久生野・大畑井・沖
永野 直幸	立川上名	農協推薦	立川三谷・中央・刈屋・中和・仁尾ヶ内
畑山 善郎	戸手野	同	戸手野・本村・峰・馬瀬
小笠原武英	大王下	共済組合推薦	大王下・大王上・小川
会 長 都 築 芳 計 氏 職務代理 永 野 直 幸 氏 事務局 農業委員会			

いよいよ

大豊町農業委員会

会長 都築芳計

この度、去る三月の改選により農業委員に選出され、不肖農業委員長に選任されまして、誠に光栄に存じますと共に、浅学非才の身の引き締まる思いであります。

ご存じのように、現在の農業は、本町に限らず全国的にも大変厳しいものがあります。殊に本町は山岳傾斜の地形の關係もあり、加えて近年の農業不況低迷と共に青年の町外流出を招き、在住民は高齢化と共に農地の耕作放棄等その荒廃は著しいものがあります。

町におきましても、ご存じの五品目等の栽培奨励により徐々に希望が持たれております。去る三月には私達委員会として町長に農業確立のための建議も致しまして、町長のご検討をお願い致しております。

私達農業委員は全員一致しまして、農地の放棄及び無断転用を防ぎ、農業者の利益代表機関として農業委員の使命を自覚し、耕地保全と農政活動に努め、職責を全うする所存でございます。

何卒皆様方のご協力・指導をお願い申し上げます。

所得稅第1期分の納期は7月31日まで(南國稅務署)

所得稅の予定納稅第1期分の納稅をお忘れなく。納期は7月1日から31日までです。

納稅する額は、6月中旬に稅務署から郵送される〈予定納稅額の通知書〉に記載された金額です。振替納稅を利用されている方は納期限(7月31日)に指定の金融機關の口座から自動的に納付されますので、預金残高の確認をしておいてください。その他の方は、納期限までに最寄りの金融機關などで納めてください。

納期限までに納稅されない場合は、完納する日までの間、未納となっている本稅の額に対して年14.6%(9月30日までは年7.3%)の割合で延滞稅がかかります。

(予定納稅のしくみ)

所得稅は、通常、7月(1期分)と11月(2期分)に予定納稅をし、翌年2月16日から3月15日までの間に確定申告をして1年間の稅金を清算するという制度を採用しています。

平成四年度・町PTA会長に 門田将男氏を選任

去る五月二十一日、農工セ
ンターにて町PTA連合理事
会が行われ、三年度の事業報
告や四年度の活動方針等が討
議された後、役員改選に移り
次の方々が選ばれました。

◎町連合PTA役員

会長 門田 将男 落合
副会長 三谷幸一郎 岩原
同 西村 敬史 校長会
監査 佐藤 徳治 馬 瀬
同 中田 一元 校長会

◎各学校PTA会長名

天坪小学校会長 前田 正茂
久寿野小学校会長 大石 憲彦
大杉小学校会長 門脇 義一
川口小学校会長 猪野 幸博
立川小学校会長 北山 順一
大田小学校会長 四宮すみ子
豊永小学校会長 三谷幸一郎
東豊永小学校会長 森尾 憲一
大杉中学校会長 佐藤 徳治
穴内中学校会長 岡本 伸雄
大豊中学校会長 門田 将男
西峰小中学校会長 前田幸太郎
一、基本方針について

児童、生徒の健全な成長を
図るため、親と教職員が一致
協力して学校及び家庭におけ



町PTA会長
門田将男氏

る教育について理解を深める
と共にその振興に努め、さら
に校外における生徒指導、地
域における教育環境の改善充
実を図るため、会員相互が自
ら学び学習を行い、社会教育
関係団体としての活動を積極
的に推進する。

二、活動方針について

イ、PTA組織の強化と会
員意識の向上

ロ、児童、生徒の健全育成
ハ、学校教育への理解と協
力

二、PTAにおける人権、
同和教育の推進

なお、本年九月から実施さ
れる学校週五日制への対応な
ど、今後取り組むべき重要な
課題があります。

PTA活動に対し、町民各
位のご理解とご協力をお願い
致します。

第32回(大豊町) 商工会通常総代会開催



商工会長 小林稔雄氏

去る五月二十六日、農工セ
ンターにて、商工会通常総代
会が開かれ、事業報告や商工
業界を取り巻く、当面の課題
等が真剣に討議されました。

○平成三年度の事業報告

いざなぎ景気をしのぐ長期
的好況を持続してきたわが国
の経済は、バブル経済の崩壊
が決定的な要因とな
り、景気は鈍化
し不況ムードに包
まれた。

本町において
は、一月末の四国
横断自動車道大
豊―川之江間が
開通し、商業に及
ぼす影響も懸念さ
れ、小規模業者を
取り巻く環境は一
段と厳しさを増し
ている。

このような現状

を踏まえ平成三年度は、本町
商業の問題点を明らかにし、
商工業活性化促進の指針を得
るため、広域商業診断を実施
するなど地域の発展と商工業
の活性化につながる諸々の事
業を意欲的に実施している。
などの報告があり、役員改選
・提出議案すべてが採択され
閉会しました。

◎四年度の基本方針

日本の経済は、平成三年度
後半から景気の減速感が広ま
りをみせ、国は、数次にわた
る公定歩合の引き下げ、公共
事業の前倒し等本格的な景気
浮揚対策に乗り出した。

本町においては、依然とし
て過疎と高齢化現象が進行し
基幹産業は低迷を続けてい
る。

このような現状認識にたつ
て平成四年度は、経営改善普
及事業を従前にも増してより
効果的に実施するほか、前年
実施した商業診断の結果につ
いて分析、検討を行うことも
に、嶺北活性化事業(小規模
事業対策特別推進事業)むら
おこし事業等、商工業の進展
につながる地域振興事業を積
極的に推進する。

◎新商工会役員

会長 小林 稔雄 落合

副会長 秋山 弘安 黒石
同 西岡 宗歳 久寿軒
監事 樋口 喜三 大田口
同 岡本 淳 穴内三
理事二十名が選任されてい
る。

◎商工会からのお知らせ!

四国横断自動車道「大豊」
川之江間の開通により瀬戸
内圏・本州とが直結し、県外
からの観光客の増加やさまざ
まの交流が期待されている。
こうしたときに、大豊IC
が単なる通過点にならないよ
う県外に向け嶺北地域をアピ
ールする必要がある。

嶺北地域のPRとして、V
T番組の放送を次により放映
しますので、ぜひご覧下さい。

◎高知放送 (RKC)

7月4日・7時30分～45分
18日・同

◎西日本放送 (RNC)

7月25日・15時40分～55分
26日・11時45分～12時00分
今後とも町内での商工会各
事業にご理解を賜りますよう
お願い致します。

お買い物は、町内の
商店をご利用下さい

町連合青年団長に下村賢彦君

平成四年度の大豊町連合青年団定期総会が、四月二十七日に開かれ、三年度の総括、役員選出、四年度の事業計画、青年団運営方針など熱心に討議されました。

◎町連合青年団新役員

団 長 下村賢彦 岩 原
副団長 小松忠司 船 戸
事務局長 小松隆章 沖
事務次長 釣井 亘 船 戸

◎地区団長

大 杉 佐々木宏昌 高 須
東豊永 小松真嗣 沖
東 部 小笠原張生 岩 原
大田口 釣井 亘 船 戸

◎平成四年度活動方針

昨年度活動方針においては、今までの連合青年団活動をも一度見直し、連合青年団としての今後の役割を見つけることを目標に方針を作成し、活動を行ってきた。

平成四年度も基本的にこの方針を継続すると共に各地区青年団との交流、研修等を積極的に取り入れる。
しかし、本町の青年団の現状を考えてみると活動方針に

沿った事業計画の作成、及びその活動は非常に厳しいことが予想される。

趣味の多様化により青年活動等、地域に根づいたグループ活動が衰えている現在、今までの先輩が築いてきた青年団（連合・各地区）としての活動そのものを見直し、時代に即した無理のない青年活動を理想として取り組む。

ソフトボール ナイターリーグ戦 開 幕



昨年優勝チームから優勝旗の返還

◎事業計画

- 一、各地区青年団との交流（各種スポーツ交流）
 - 二、視察研修（地域づくりと青年団の役割について）
 - 三、研修会の開催（今後の青年団活動について）
 - 四、各種事業（選挙掲示板立て、各地区納涼祭協力）
- 以上を全員一致で決議し会を閉じました。



団長下村賢彦君

☆青年団の存続や団後継者の育成等々現在社会構造の現状では、かなり厳しい面もありますが、こうした傾向は大豊町だけの問題でなく、過疎化の進む山間部全体の大きな課題でもあります。

町も、こうした諸問題を真剣に受け止め、若者の定着する希望もてる町づくりを施策として取り上げ、若者が集う町づくり「ゆとり」と養成事業等々を通じ、将来につなげる活力のある町づくりを目指しています。

今後とも青年団活動や若者の意見を尊重し、町民共通の課題とし側面的な協力を町民の皆様方をお願いします。

ムで（一部リーグ八チーム・二部リーグ八チーム）に分けリーグ戦が行われます。
第十五回大会頃までは、二十四チームぐらいが出場していましたが、ここにも過疎と高齢化の波が押し寄せ、残念ながら年々出場チームが減っているのが現状です。

そうした中でも新しいチーム「嶺北五方町村で林業労働者の育成・確保を目的とし、第三セクター方式で設立した（とされいほくチーム）」も参加するなど、新しい芽も出てきています。

◎町体育会では、生涯スポーツを合言葉に、住民一人一人が何らかのスポーツを楽しむながら生涯を通じての健康管理を呼び掛けています。
今後とも体育会活動にご協力をお願いします。
◎参加チームの紹介
一部リーグ＝ココノッツ・（株）ソニヤ・シルクロード・船戸クラブ・小笠原精肉店・落合クラブ・ライフページ・エンジェルズ（八チーム）
二部リーグ＝高銀丸・陸援隊・イーストクラブ・天神会・ナヴィーズ・大田口愛球会・J A大豊町・とされいほく（八チーム）

行政参加の町づくりを目指し

婦人会「会長研修会」実施

横川遊亀寿先生の講演も

地区婦人会のリーダーとして、組織の企画・運営に必要な知識や技術を養い、互いに研究して、今後の婦人会活動の活性化と町づくりへの参加を目指して、大豊町連合婦人会（会長平石常子）では、去る五月十五日、新しい会長を招集し、平成四年度会長研修会を実施した。

対象者は、連婦の役員、各地区の会長さんで五十余名が参加、始めに平石連合婦人会長が、新年度の活動方針や事

大豊町連合婦人会地区会長研修会



業計画などの説明を兼ねて挨拶があり、西岡助役の来賓祝辞、行政関係各班からの事務連絡、午後は、横川先生の「婦人会地区リーダーとしての心がまえ」と題しての講演。

先生のいつもながらのユーモアと、聴衆の真理を巧みについた話を一同熱心に聴き聞いていました。

婦人の地位向上と地域を守り支える婦人会活動の益々の発展と、喜ばれる良きリーダーとしての活動を心から期待するものです。

ふるさと住宅入居者募集

平成4年8月13日竣工予定の『大豊町ふるさと住宅』の入居者を下記により募集します。

1, 募集戸数

対象	募集戸数	家賃及び敷金	所在地	規格	備考
一般住宅	5 戸	月額10,000円 又は30,000円 敷金は、家賃 の3ヵ月分	大豊町中村 大王字下ア カヤブ3408 番地1	鉄骨三階建（3LDK） 一階、床面積70.38㎡ 二階、床面積70.38㎡ 三階、床面積70.38㎡	駐車場は、各戸 1台分のスペース があります。

2, 入居資格 申込者は、次の資格を備えている必要があります。

- (1) 収入は、一世帯年間所得150万以上あること。ただし、「失業保険・生活保護法による扶助料・恩給・年金等の自給者は除く」
- (2) 世帯主が、40歳以下であること。
- (3) 新婚世帯（婚姻の届日から3年以内）の者で入居家族が2人以上であること。または、新婚世帯でない場合は、入居家族が3人以上であること。
- (4) 現に住宅に困窮していること。

3, 申込受付期間及び受付場所

- (1) 期 間＝平成4年6月25日から平成4年8月14日まで（但し、土曜日・日曜日を除く）
- (2) 受付時間＝午前8時30分から午後5時まで
- (3) 受付場所＝大豊町役場 建設課公共土木班
- (4) 申込書類＝大豊町役場 建設課公共土木班または、役場各支所にあります。

4, その他の注意事項

- (1) 申し込みについては、「大豊町ふるさと住宅貸付要項・申請書の記載事項を確認ください」
- (2) 住民基本台帳法第23条により、入居者全員を大豊町ふるさと住宅に住民票を移すこと。

ふるさと住宅第2次募集について（お知らせ）

平成4年11月中旬に建て増し住宅の募集を行う予定です。（場所・住宅規格は、上記と同じ）
なお、入居等についての問合せは、大豊町役場建設課土木班（☎72-0450内線24）にお訪ねください。

私の提案

大豊町は今、再び過疎化、高齢化の進捗が急となり、深刻な状況となっている。

平成二年の国勢調査結果をみると、昭和六十年から平成二年までの人口減少率が二・一％でこれは県下の市町村で三番目に高い減少率となっている。また、高齢者の割合（六十五歳以上の人口の割合）は三〇・三％でこれは県下で二番目に高い割合となっている。更に年少人口（十五歳以下の人口）の割合は一一・五％でこれは県下で三番目に低い割合となっている。

町内八十五集落についてみると、既に六十五歳以上の人口が半数を超え、集落としての機能の維持が困難となっている集落がいくつみられ、全八十五集落が将来とも集落として生き残ることは困難な状況にある。

次に、産業別就業人口についてみると第一次産業二四・一％、第二次産業四〇・一％、第三次産業三三・八％となっている。この昭和六十年からの減少率をみると、総数で二

〇・六％減少する中で第二次、三次産業が七・八％の減少であるのに対し第一次産業は二分の一近い四四・九％という高い減少率となっている。さらに農林業の就業者についてみると六十五歳以上が三七・三％五十五歳以上となると七三・九％と四分の三を占めている。

以上のように人口の減少が

やりすぎカンドリーがおおいふ

（地域区分）

本町の将来の姿をその機能から人の居住する地域を核集落「衛星集落」に区別し、その周囲を取り巻く非居住地域を「農業エリア」「林業エリア」に区別する。

（核集落）

高速交通網の有利性を最大限に活用するなど、都市機能を集積した集落とする。ここは、企業あるいは後に述べる農林業法人、福祉法人等に勤務する者、高知市、あるいは

再び激しくなり七、七六〇人と昭和三十年当時の三分の一となる中、この構造は極端な高齢化となり、しかも本町の基幹産業である農林業にこの影響が顕著に表れてきている。

これは、中山間地域の市町村の宿命的な現象とはいいながら、特に本町はこの傾向が顕著であり、非常に厳しい状況となっている。

こうした厳しい現実の中、「大豊町の将来像は？」

瀬戸内地域を中心とする経済圏への通勤者等、若者を中心とした人々が生活する空間とする。

このため、若者向けの住宅の整備を促進するとともに生活環境面において都市的な機能、通勤拠点集落としての機能等を充実し、自然豊かな山村の環境を活用した住環境を整備する。さらに高速交通網の流通面の有利性を活用した企業の導入を図る。

また、教育、医療等の施設についてもこの核集落に集中



し、より充実した内容とする。ことにより都市に流出する若者を吸収する。

ここに暮らす若者たちは、衛星集落にセカンドハウス（実家）を持ち、そこに暮らす親たちとともに余暇を利用して生活のゆとりの部分として「ゆとり農業」「ゆとり林業」を楽しむ。

（衛星集落）

衛星集落については、核集落を取り囲む山村地帯の集落とし、ここは高齢者を中心とした人たちの生活する空間とする。

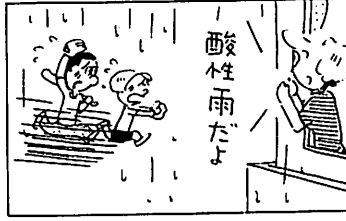
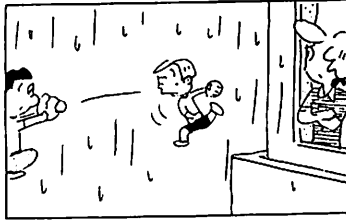
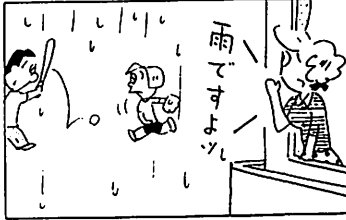
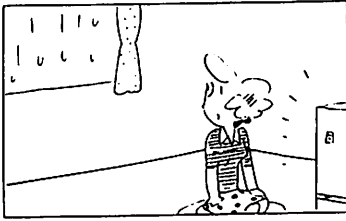
この集落には、従来から暮らしている人々の住宅に加え、農園付き一戸建て住宅、マンション形式の住宅等を建設することにより孤立化集落等の住民に提供し、これらの集落再編成による定住化を促す。更に、小規模な圃場の整

備等による「ゆとり農業」の基盤を整えるとともに高齢者福祉施設、スポーツ、レクリエーション広場、さらに墓地公園等を整備し集落全体を鎮守の森を中心とする高齢者向けの山村公園化する。

ここは、生活の「ゆとり」として取り組むことのできる圃場を超える作業については農林業法人に委託することにより、農林業を楽しむながら自然に囲まれ悠々自適の生活をおくるシルバリーエイジのパラダイス「シルバリーレッジ」とする。

また、核集落の苦者たちにとつては、この衛星集落での営みがそのまま身近なセカンドライフステージとなる空間とする。若者は休日にはセカンドライフとして農林業を楽しむ、高齢者は日常の農林業の楽しみに加え、訪れる子供たち、孫たちとの農林業を通じてのコミュニケーションが生き甲斐となる。

この衛星集落のシルバリーレッジ化により生まれるシルバリー産業に対処した福祉法人を設立し、若者の雇用の場を創設する。



この「ゆとり」と「カントリー」のおおとよ「実現には、既に農業について庵谷で試みられている協業化、あるいは林業について嶺北広域で設立された第三セクター（株）」とされいほく「老人福祉については健康基地の整備等、今後、地域の重要な部分を担うこととなる各種の動きを積極的に助長するとともに、拠点集落整備、シルバーレージ建設、

（農業、林業エリア）
農林業は本町の基幹産業であり、これは専業従事者の数、あるいは生産額等の推移には関係なく、この地で生活していくこと自体が農林業との関わりで成り立っているものであり、今後においても変わることがない。
ただ、農林業の形態は社会情勢の変化に伴い著しく変化しており、従来振興してきた「業としての農林業、林業はごく一部となっており、限界に達している。このため、今後においては本町で生きていくことの魅力として生活のゆとりの部分で取り組む「ゆとり農林業」「ゆとり林業」がその重要な部分を占めることとなる。

この経営のため農業法人、林業法人（第三セクター等）を設立、農業地域、林業地域における農林業経営を行うとともに「ゆとり農林業」「ゆとり林業」の範囲を超える部分の労働を受託することにより、農地、森林の荒廃を防ぎ、農林業を守る。また、これらの法人は若者が社員として安定した雇用条件のもと農林業に従事する場とする。
こうした法人の森林保全、

農地保全等につながる生産活動は、一方で山村のもつ水源かん養、災害の防止、自然景観の保持、空気、水の供給等の多くの公益的機能を守るものである。これは山村だけの問題ではなく都市地域と山村のネットワークにより自然と社会の共生を目指した取り組みにより解決すべき問題でもある。
そこで、この公益的機能を維持するための制度として、その恩恵により生活が成り立っている都市地域の人々がこうした法人の活動に対し一定の負担をする制度（グリーンフォレストトラスト）を創設し、これらの法人の経営安定を図る。
また、林業エリアにおいて

は、森林のもつ心身をリフレッシュする機能等を活用した施設として「ゆとりすとパーク」「中村大王」、里道の整備による森林浴の森等の整備を進め、こうした各種施設の管理運営についても、林業法人の公益的活動の一部とする。
以上のように、若者中心の生活空間であり企業の活動空間「核集落」、高齢者の生活空間であり若者のセカンドライフ空間の「衛星集落」、農林業の経営空間「農業エリア」「林業エリア」それぞれに関わる全ての人たちが、組織、制度がお互いにそれぞれの機能を発揮することにより「ゆとり」と「カントリー」のおおとよ「が実現する。」

鎮守の森整備、あるいは、ゆとり農林業、ゆとり林業の位置づけ、グリーンフォレストトラスト制度、町外地主の協力義務制度、農業法人、林業法人、福祉法人等について早急に計画し、積極的な取り組みが必要である。（K・I）

無料交通事故ご相談

- 電話のご相談もお受けします ☎0888-25-0318（直通）
- 相談日：月曜から金曜午前9時半～12時・午後1時～4時40分（祝祭日を除く）
- ◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
- ◎弁護士相談日：毎月第1金曜日午後1時～4時

社団法人 日本損害保険協会
高知自動車保険請求相談センター

高知市本町2-1-6安田火災高知支店ビル2階（電停大橋通東） 高知調査事務所内 ☎0888-25-0315

土佐の民俗仮面展

本町からも
数々出展

県立歴史民俗資料館（岡豊）で、五月三十一日まで開かれた「仮面の神々・土佐の民俗仮面展」には、県内各地域に残っている特徴的な面、三百点余りが展示され、好評を博しました。

今回の展示面は、昔から各地域で祭りや信仰行事に使われていた仮面で、県下五十カ所の神社・個人から集められたもので、本町からも立川や東西豊永地区から貴重な仮面、五十点余りが展示されました。

大豊町の歴史は古く、神亀



鬼
(大豊町大砂子)

室町時代、永禄十一年（一五六八）の銘がある。使用法は不明。大豊町大砂子新田神社蔵。

元年（七二四年）僧行基によって豊楽寺が建立され、延暦十六年（七九七年）には立川に官道が通じ、駅家が置かれて都との文化交流が促進されたとある。

また、国の重要無形文化財に指定されている「永淵・岩原神楽」の起源は「つまびらかでないが、磐原神社の創祀沿革」によると、天慶もしくは天曆年中（九三八―九五七年）岡崎権六郎重良が伊勢より勸請し、奥荒に社殿を建立、伊勢大明神としてまつたのはじまりのようでもある。

千年の歴史の中で私達の祖先は宮々と耕し、汗と膏を流し、大豊の地を今日に受け継いできましたが、激しく移り進む文明の波に、私達は意識するとしなやかかわらず押し流されているのではないのでしょうか。そうした先人の尊い遺産である「文化・文化財・地域の財産」を父祖の心と共に後世に正しく継承していく努力も、お互いに考えなければならぬと思います。

「歴史とロマンの里づくり」に協力をお願いします」

中央地区十四市町村が、芸術と文化の交流を図る場として「東西南北まわり舞台」を例年各市町村が持ち回りでを行っています。

本年度は、本山町が開催町

東西南北まわり舞台

(第十一回中央地区文化交流発表会)

各市町村から五百名余りが参加、展示部門には「日本画・洋画・書道・写真・工芸」などの作品が展示され、舞台部門は「日本舞踊・洋舞・民謡・詩吟・大正琴」など、各市町村の

文化推進団体会員らによる熱の入った発表が行われ、会場は終日賑わいました。

大豊町からは、展示部門に（洋画＝竹内敬訓、写真＝松浦延和、工芸＝門田勝喜）の



大豊民謡会員の熱唱



穴内コスモス会員熱演

教育相談室だより

めまぐるしく変わる現代社会の中で、私たちは迷ったり不安になったり気持ちがすっきりしない事がよくあります。子育ての中のお母さま、ご家族の皆様方には、子どもさんのことで悩みや気にかかる事はありませんでしょうか。

相談所では、皆様方の悩みや相談に対して一緒に考え、問題解決の方向で努力します。又、専門機関への紹介もいたします。

お気軽にご連絡ください。（秘密事項は固く守ります）

連絡先 大豊町教育委員会内 教育相談所（電話72-0094）近藤まで連絡下さい。

平成三年度の「ゆとり」と

養成事業」を活用し、美しい町づくりを推進している大豊町老人クラブ連合会では、各地域で特色ある美化活動を行っています。大田口校下の栄寿会（会長桑名豊茂氏・会員百三十五名）では、昨年の十二月に奥大田地区に桜の苗木二百四十本を植え、美しい里づくりにガンバっています。

去る六月二日、栄寿会員三十五名余りと、船戸地区から応援のご婦人たちが、奥大田に集合、植樹の周囲の草刈りや肥料を与えるなど、早朝から汗を流してい

ました。

また、昼食は奥大田分校の隣「あきやま山荘」に集い、応援のご婦人たちの手づくり料理を全員が囲み、お互いの交流と花談義、そして意義ある共同作業の一日を和やかにすごしていました。

以前（館報二五二号）でも

奥大田を花の里に 栄寿会員手入れ

紹介しましたが、奥大田の秋は大変美しく、特に谷川添いの紅葉は、色も鮮明で他に例を見ないほど美しいと地元では自慢で

栄寿会員による
桜の手入れ



す。（平成元年度には、乙女から奥大田にかけて「遊歩道」も完成している）

四季を通しての里づくりと「春の花」桜を植えたそうです。

昭和六十一年に奥大田溪谷観光推進会も発足し「人情とロマンの里」をイメージした山岳観光などについても種々検討されているようですが、まず春は、山菜取り、山菜料理と桜の里・夏は、冷たい清水と、キャンプの里・秋から冬は、紅葉とアメゴ、田楽と猪汁の里、等々色々と考えら

れますが、残念ながら道路整備が遅れています。いま盛んに工事が進められていますので将来的には、良い観光資源となるのではないかと確信し、奥大田を後にしました。



夏の夕方、暑さを吹き払うように夕立が通り過ぎ、そのあとに大きな虹がかかったときのさわやかさは最高です。子どものころ虹の下をくぐろうと、一生懸命に走った思い出をもつ人もいるかもしれません。

虹

虹は、太陽光線が空気中の水滴に当たって、色が分かれる現象です。七色の順序は、内側から紫、藍、青、緑、黄、だいたい、赤となっています。

また副虹といって、虹の外側にも虹が見られることがあります。その場合、色の順序は反対です。虹は太陽の当たる方向に見えますから、雨の上がったときなど、太陽を背にした方向を見ましょう。

虹については、古来さまざまな言い伝えがあります。ギリシャ神話では、虹は水の女神が黄金の翼を広げて、天と地の間を行き来するときの橋といわれています。



また日本には、「晩の虹は鎌を研げ、朝の虹は隣へ行くな」ということわざがあります。晩の虹は翌日晴れる前兆だから、畑仕事の準備をせよ、朝の虹は天気が悪くなるから、外出はしないほうがいいということです。「晩の虹は江戸へ行け、朝の虹は隣へ行くな」というのも、同じ意味でしょう。昔から虹は、天気予報にも使われていたのです。

ところで、美しい空、美しい地球を次の世代に伝えるためには、みんなで力を合わせなければなりません。七月は、「オゾン層保護対策推進月間」です。オゾン層破壊物質の使用削減に、もっと関心をもちたいものです。

年金の支払日は偶数月の15日



◎年金の支払日が土・日・祝日に
あたるときは、その前日に繰り
上げて支給されます。

年金額比較表 (単位:円)

		平成3年度	平成4年度
老 齢	老齢基礎年金	702,000 (58,500)	725,300 (60,442)
	10年年金	426,500 (35,542)	440,700 (36,725)
	5年年金	363,000 (30,250)	375,100 (31,258)
障 害	障害基礎年金(1級)	877,500 (73,125)	906,600 (75,550)
	障害基礎年金(2級)	702,000 (58,500)	725,300 (60,442)
	障害年金(1級)	877,500 (73,125)	906,600 (75,550)
	障害年金(2級)	702,000 (58,500)	725,300 (60,442)
遺 族	遺族基礎年金(子1人)	904,400 (75,367)	934,400 (77,867)
	母子年金(子1人)	904,400 (75,367)	934,400 (77,867)
子 の 加 算	第2子まで	202,400 (16,867)	209,100 (17,425)
	第3子まで	67,500 (5,625)	69,700 (5,808)
老齢福祉年金		359,200 (29,933)	371,100 (30,925)

※() 書きは、月額をあらわす。

年金額の改定は、完全自動物価
スライド制が取り入れられており
ます。
今年は、平成3年1月から12月
の全国消費者物価上昇率が、前年
比3.3%であったため、これを受け
て改定されました。

4月から支給される年金額は、
左の表の額となり、その支払は、
6月定期支払分(老齢福祉年金は
8月定期支払分)から支払われま
す。



年金額

4月から3.3%アップ!

自衛官募集案内

募集種目	性別	資格	受付日
2等陸・海・空士	男・女	18～27歳未満	8月1日～9月30日
曹候補士	男・女	27歳未満高卒	8月1日～9月14日
一般曹候補学生	男・女	21歳未満高卒	8月1日～9月14日
航空学生	男	20歳未満高卒	8月1日～9月14日

※試験日・給与・待遇・手続き等についての詳しくは、自衛隊高知募集案内所又は、役場住民課にお尋ね下さい。(☎ 0888-23-2006)

お誕生おめでとうございます

◎平成4年4月1日～4年5月31日までの受付(6名)

元気に育て おおとよつ子

氏名	生月日	性別	父	母	部落
上村 恵理	3月23日	女	徳憲	由美子	上桃原落
間嶋 紗貴	3月25日	女	利幸	芳枝	大王下
植村 拓弥	4月8日	男	和敏	百利	小川
畑 勇気	4月14日	男	伸生	左絵	黒石
小笠原佳奈	4月25日	女	徳吉	由美	岩原
今井 一穂	5月15日	男	剛	みか	川口南

ご冥福をお祈りいたします

◎平成4年4月1日～4年5月31日までの受付

(20名)

氏名	死亡月日	年齢	性別	部落	氏名	死亡月日	年齢	性別	部落
川井 一恵	4月4日	44歳	女	一ノ瀬	岡崎美代子	5月9日	72歳	女	三谷
山崎 信代	4月6日	88歳	女	立野	西村 住豊	5月10日	74歳	男	大畑井
長野七太郎	4月7日	76歳	男	刈屋	小笠原 茂	5月11日	78歳	男	馬杉
小笠原藤子	4月23日	76歳	女	峰	小倉 由幸	5月12日	59歳	男	大豊園
三谷 福秀	4月27日	62歳	男	久生野	近藤 秀子	5月13日	81歳	女	八川
中西登美子	4月27日	73歳	女	大砂子	藤川 しま	5月15日	88歳	男	本村
小笠原雄守	5月7日	72歳	男	黒石	都築 秋子	5月17日	87歳	女	東土居
					下村 賀治	5月20日	79歳	女	上桃原
					下村 千種	5月21日	90歳	女	上桃原
					上村 熊女	5月22日	85歳	女	岩原
					永野 高春	5月27日	83歳	男	上桃原
					小笠原時盛	5月28日	61歳	男	仁尾ケ内
									中央

町づくりに貢献

積立金還元融資事業

郵便局の簡易保険や年金の積立金は公共の利益を図るため、その一部が地方に還元され、地域住民の福祉や生活環境の整備事業に役立てられています。

大豊町では、平成3年度に簡易保険積立金の還元金3億2240万円余りの融資を受け「森林パーク事業・町道・農道・林道等の整備事業・集会所の建築・スクールバスの購入」などの事業を行っています。



平成3年度の還元融資を受け購入

環境問題が深刻化

ゴミの不法投棄をしないで

お知らせ
コーナー



町では、上のような4種類の看板を作りました。数に限りがありますが、お入り用の方は、保健班長又は区長さんを通じ住民課に申し出ください。

(お入り用の方は、写真の番号により申し込みして下さい。)

★大豊町でも、近年ゴミの不法投棄が多くなり、美しい故郷も、あまり環境が良いとは言えなくなっています。「幸せな家庭づくり・住み良い環境づくり・美しい町づくり」をみんなで今一度考えてみましょう。



四国電力からダム放流についてお願い

今年も集中豪雨や台風が発生するシーズンとなりました。

四国電力では、穴内川ダムおよび繁藤ダムから放流する場合、サイレンや警報車でお知らせいたしております。

サイレンや警報車による警報を聞いた場合

は、川におかれている物、また、川におられる方はただちに安全な場所へ移動するようお願いいたします。

なお、放流する場合のサイレンの鳴らし方は次のようになっております。

1分間吹鳴 ウォーン	15秒休み	1分間吹鳴 ウォーン
---------------	-------	---------------

◎梅雨・うつつうしい日が続きますが、夏場は体力の消耗度が激しくなります。
この季節は、特に栄養のバランスの取れた食事を心がけることが大切です。
また、豪雨などの災害に備え、日頃から家の周囲などの点検をおこなわないようお互いに気をつけましょう。館長

花盛り見振り手振りの異邦人 秋山 良恵
前田 由和
花三穂 杉本 賀美
彼の人を土に帰せば 吉川 邦子
さくら散る レントゲン 緑の空気 猪野 義晴
肺につめ 離農へと世の中走る花薔

好きですと告げてすかんば 松浦 美恵
囃んでます 洗い上ぐ葉わさびの青 徳弘 妙子
裏に服す オンザロックの氷がやせる 三谷 幸正
四迷の忌 リボンある靴にふまれる 花の苗 長野としえ
あれからの歳月長し

やまびこ

句会
作品抄